

2011年1月11日
中国自動車調査月報 編集長 周政毅

中国2010年自動車販売が1,800万台を記録 世界は4台のうちの1台が中国で販売される時代に

謹啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当社の調査研究、報告書出版業務にご協力頂き、誠にありがとうございます。

昨日、中国自動車工業協会（CAAM）からの連絡による「緊急速報」を御案内申し上げます。

■2010年の中国自動車出荷は前年比32.4%増の1,806万台に拡大。

■2010年の中国自動車生産も前年比32.4%増の1,826万台に拡大。

■2010年の国内販売は、輸出入の相殺分を除くとフォーイン推定で1,855万台に拡大。

■2010年の世界79ヵ国自動車販売は前年比11.7%増の7,227.9万台に拡大。

（FOURIN2010年12月2日プレスリリース参照）

■世界販売における中国の販売比率は2008年13%から2010年25%に上昇。

■中国では公害、エネルギー需給の逼迫問題などの解決策が急務として浮上。同時に新たなビジネスチャンスも生む。

参考までに、プレスリリース用「速報」記事（1頁）を添付いたしました。中国月報2月号での編集予定レポートそのものではありません。2010年中国市場については、今後の月報記事において改めて詳細に取り上げる予定でございます。ご不明な点やご質問がありましたら、「FOURIN中国自動車調査月報」編集長の周政毅（TEL：052-789-1186、FAX：052-789-0967、E-mail：s.shu@fourin.com）までご連絡下さい。

速報

2010年中国自動車販売は1,800万台を突破、世界は4台のうちの1台が中国で販売される時代に突入

2011年1月10日中国汽車工業協会(CAAM)発表ならびに当社への連絡によると、2010年の中国自動車販売台数は1,800万台を突破し、2009年に続き世界最大自動車市場の地位を堅持したことが判った。また、自動車の年間販売でこれまで歴代記録となっていた米国ピーク時の2000年1,781万台を超え、歴史が塗り替えられたことも判明した。これは、今日、世界中で生産される自動車、4台のうち1台が中国で販売される時代に突入したことを意味しており、世界における中国市場の戦略的ポジションが固まってきている。

中国汽車工業協会(CAAM)の発表によると、2010年中国自動車生産は前年比32.4%増の1,826万台、出荷台数の同32.4%増の1,806万台から、2010年の輸出入台数(1~11月の中国通関データから推定)をプラスマイナスして、国内販売規模は1,855万台前後(フォーイン推定)になった。

これは2009年から開始された自動車購入税減税、汽車下郷(農村普及策)、買換補助金等景気浮揚策が、国内需要の喚起を促し、2009年に484万台、2010年に462万台の純増で世界中前例のない勢いで拡大してきたためである。そのため、世界自動車販売に占める中国の比重は2008年の13%から9年の21%、2010年の25%に急上昇し、世界における中国自動車市場の存在感が更に高まった。それに伴い、VW、GM、日産等世界自動車メーカーは現地生産・販売だけではなく、中国ユーザのニーズを優先する現地開発を強化する中国戦略に転換しはじめています。

一方、モータリゼーションに突入しつつある中国では全国的なエネルギー不足、排ガス汚染、交通渋滞、労使紛争等問題が深刻化してきている。そのため、北京市では2011年から自動車登録制限を開始し、中央政府は環境税の導入を検討するなど、マイナス要因も重なり、今後の中央から地方までの自動車関連振興政策によっては、2011年以降の成長曲線はなだらかなものになる事が懸念される。

【中国、自動車販売台数推移(1988~2010年、米国は参考)】

